

こうた 議会だより

ひびけ!
明日の大空へ!

146号
2012.10.25 発行
愛知県幸田町議会

● 9月定例会のあらまし 相見駅工事費精算総額 37億476万円 2 平成23年度決算 検証 4
● 一般質問 「子どものサインの早期発見は」など8人が質問 6
● 委員会レポート えこたんバス運行順調ほか 14
● 特集 住民の声を聞くパート7 福祉の増進 民生委員・児童委員 18
● あい・らぶ・マイタウン 「将来の夢」 「南中ソーランで町を元気に」 20

H24.9.15
南部中学校陸上大会

の会の例定
しあらし

9月

9月定例会は、9月3日に招集され、26日までの24日間の会期で開かれました。財政健全化判断比率などの報告1件、教育委員の任命をはじめ人事案件3件、相見駅自由通路整備の工事費精算など単行議案3件、補正予算9件、平成23年度決算認定9会計の議案が上程され、可決認定しました。そのほか、陳情2件を審議し、1件を採択、1件を不採択としました。議員提出議案1件が提案され、可決しました。

相見駅自由通路の工事が完了し、JR東海との間で工事費の精算がおこなわれた。当初の協定額は、11億145万円が2億3685万円ほど減額され、8億6460万円となった。なお、駅舎および関連施設は、当初協定額34億8600万円が6億4584万円ほどの減額で28億4016万円となり、総額は37億476万円となった。



相見駅工事費精算

総額37億476万円

当初見積額から8億8269万円の減額



横落区防災訓練

自主防災会の声を反映

幸田町防災会議条例の一部が改正され、防災会議の委員に自主防災会や学識経験者が加わり、防災計画などに現場と専門家の意見が反映される。

- Q 自主防災組織の数は。 A 23行政区と企業内にもある。
- Q 女性の登用は。 A 男女共同参画の趣旨からも前向きに検討する。
- Q 地区ごとの自主防災組織の連絡はあるか。 A 定例区長会にお願いしている。

(全員賛成で可決)

一般会計補正予算

人事案件

借金1億1000万円

(臨時財政対策費) とりやめ

町民税は、景気の若干の回復により、2億4000万円の増加。公債費負担軽減のため臨時財政対策債1億1000万円のとりやめなどにより、補正額6831万6000円を計上した。

Q 5カ月間の成果は。

A 訪問活動や意見交換、ホームページ開設、ガイドブック作成などがある。

Q マスタープラン作成のねらいは。

A 企業立地のビジョンを示し、今後、企業情報懇話会を設け意見を求めていく。

人権擁護委員

天野 信行氏 (大草区)
三浦 敏男氏 (市場区)
山田 和代氏 (荻区)
(全員賛成で答申)

固定資産評価審査委員

小林 常男氏 (幸田区)
(全員賛成で同意)

教育委員

大須賀勝之氏 (野場区)
杉浦 未央氏 (岩堀区)
(全員賛成で同意)

主な事業

と質疑

・庁舎総合窓口設計委託料

150万円

Q プライバシーを配慮した相談コーナー、キッズコーナーの設置、フロアマネージャーの配置は。

A 設計委託の中で考える。

・ついで作業所窓ガラス補強工事

200万円

・ハッピーズ・ヒル 幸田用地測量

700万円

・企業立地推進事業

346万円



パンフレット

平成24年度幸田町一般会計・特別会計 9月補正予算総括表と採決結果

会計名		補正額	補正後の額	採決
一般会計		6832万円	133億 832万円	全員賛成で可決
特別会計	土地取得特別会計	5121万円	1億 397万円	//
	国民健康保険特別会計	2260万円	30億 2531万円	//
	後期高齢者医療特別会計	85万円	2億 7984万円	//
	介護保険特別会計	1001万円	13億 6051万円	//
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	0	5億 2768万円	//
	農業集落排水事業特別会計	81万円	3億 7111万円	//
	下水道事業特別会計	1000万円	6億 2412万円	//

陳情

・定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書

陳情者 幸田町教員組合
執行委員長 池田 和博
(全員賛成で採択)

・「愛知県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書

陳情者 三ヶ根クリニック
金子 享一
(反対13賛成2で不採択)

議員提出議案

・定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出
(全員賛成で可決)

災害に強いまちづくり

今 定例会は、平成23年度の決算を審議するため特別委員会を設置し、一般会計のほか特別会計、水道事業会計など慎重に審議した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

歳入は、固定資産税が設備投資の減少で22年度比5.0%の減少となったものの、町民税が景気の若干の回復により増加し、町税全体として、22年度比2億2476万円（3.0%）増加しました。

繰入金が16億9865万円で、前年度比9億4544万円の増加となったのは、相見駅および自由通路設置事業の本格化により、都市施設整備基金、財政調整基金を繰り入れたためです。

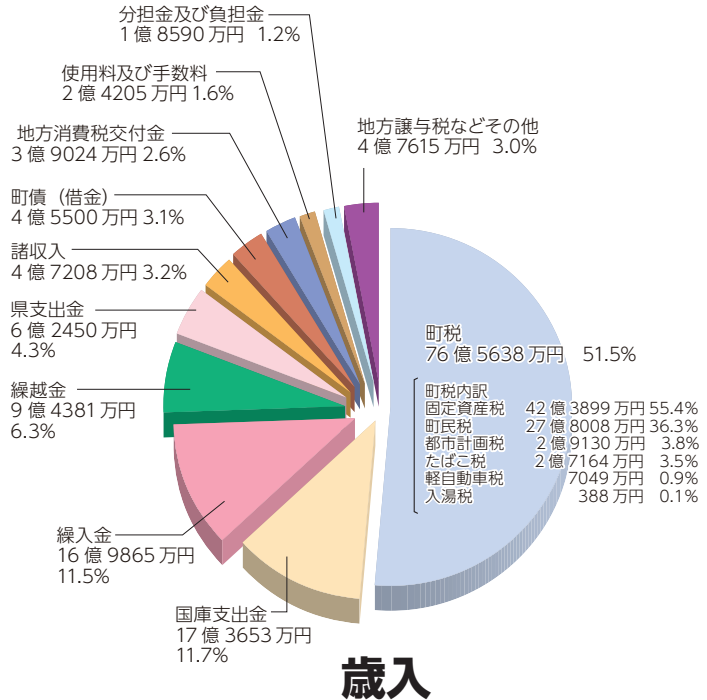
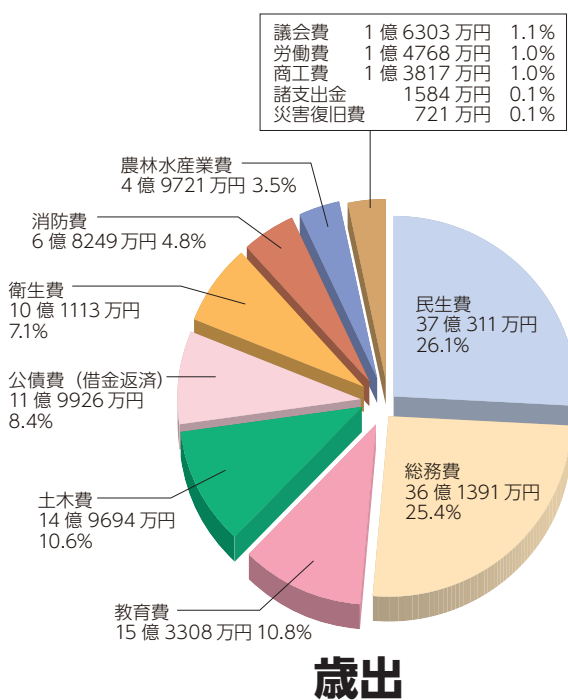
歳出では、相見駅および自由通路設置、相見駅周辺整備、はしご自動車整備、保育園空調設備設置などの事業が計画どおり実施されました。

積立金は、基金利子の2407万円のみで、前年度比1億6356万円の減少となりました。
なお、平成23年度の決算総額は、一般会計と特別会計を合わせて、歳入209億5332万円、歳出201億4319万円となりました。

一般会計の決算額

歳出 142億906万円

歳入 148億8128万円



(反対2：賛成13で認定)

平成23年度 決算審査意見書

監査委員 羽根測保博 夏目一成

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行は概ね適正であると認められた。

平成23年度決算では、町民税などの増収があった反面、固定資産税の落ち込みが続くなど、財政運営上手腕を強く問われた決算であった。円高など予断を許さない社会経済情勢ではあるが、多様化する住民ニーズを的確に捉え、効率的・効果的な事務事業の執行を図り、住民サービスの向上、安全・安心なまちづくりに層努められた。

主な質疑

- Q** 安全・安心、暮らしの支えは。
- A** 防災デジタル無線化、防災自主組織、通学路のグリーンベルト化などに取り組んだ。
- Q** コンビニ納税の導入見通しは。
- A** 365日、24時間納税、店舗数が多いというメリットがある。コンピュータシステム更新時に検討。
- Q** 体育施設の利用状況と公平な利用の進め方は。
- A** 5万4000人が利用し、町内が7割を占める。予約受付を窓口優先とし、利用時間を3時間単位とした。
- Q** 幸田駅前銀座と町のかわりは。
- A** 区画整理と都市基盤整備の事業として取り組み。来場者は減少傾向にあり、今後はイベント集客を企画していく。
- Q** 水道管路の耐震化率と今後の設備更新の計画は。
- A** 耐震化率は、全国が18・4%、県が32・8%に対し、町は11・6%である。

また、平成25年度に坂崎小学校への水道管路の耐震化と永野ポンプ場の供用開始を予定している。

- Q** 子ども権利条例の成果は。
- A** 子ども会議で、東日本大震災を例に、自分に何ができるかを議論したり、携帯用の相談カードを小中高生に配った。
- Q** 老人福祉センターの改築計画は。
- A** バリアフリー対応はしているが、財政のめどがたてば何とかしたい。

主な事業

- 相見駅および自由通路設置 22億5982万円
- 相見駅周辺整備 2億8160万円
- 相見駅周辺緑地植栽 4949万円
- 幸田駅西駐車場整備 2604万円
- はしご自動車整備 1億3594万円
- 保育園など空調設備設置 3531万円
- 道路整備（生活道路） 7902万円
- 道路新設改良（坂崎野場1号線他） 6982万円

町民のくらしを支援する町政に反対

丸山千代子議員

町税収が、景気の回復で増加傾向に転じ、6億6000万円の黒字となった。
全国の8割が実施している法人町民税の超過課税は、1億1300万円が見込め新たな財源確保ができ、実施すべきだ。
新駅建設につき込むため、子どもから高齢者まで負担増。一方で大企業は減税。
町民のくらしを支援する町政をすすめるべきだ。

討論

将来を見据えた決算と評価する賛成

都築二三議員

厳しい財政運営の中、災害に強い町、実現のための努力と、一般会計と各特別会計の決算総額は、歳入209億5331万円。歳出は、201億4319万円。実質収支は、8億18万円の黒字である。財政力指数も1.05と厳しい中、将来を見据えた決算であると高く評価する。

税収回復を暮らし支援せぬ決算反対

伊藤宗次議員

法人税収は、対前年度比5億3000万円増の8億2000万円と回復基調。
住民合意のない新駅等建設に22億6000万円を投入。
事業仕分けで行政水準切り下げ。小中学校生を絞った予算削減で保護者負担増。
公共料金3700万円値上げ。
税収回復で住民の暮らし支援、行政水準引き上げて活用しない決算内容である。

インフラ整備で人口増加を賛成

杉浦あきら議員

国、県支出金などを最大限有効活用し、環境整備と住民福祉、住民サービスのさらなる充実に努め流入人口を増やしている。
「最小の経費で最大の効果を」という地方自治の原則を十分に認識し効果的、効果的な事務事業の執行を図り、住民サービスの向上、安全・安心なまちづくりに一層努めてもらいたい。

特別会計・企業会計の決算額と採決結果

会計名		歳入	歳出	採決
特別会計	土地取得	1億1027万円	7722万円	全員賛成で認定
	国民健康保険	29億3763万円	28億6503万円	反対2：賛成13で認定
	後期高齢者医療	2億4101万円	2億4015万円	反対2：賛成13で認定
	介護保険	12億2255万円	12億1290万円	反対2：賛成13で認定
	幸田駅前土地区画整理事業	5億5911万円	5億5270万円	全員賛成で認定
	農業集落排水事業	3億5930万円	3億5336万円	反対2：賛成13で認定
	下水道事業	6億4215万円	6億3276万円	反対2：賛成13で認定
企業会計	水道事業会計			
	収益的収支	6億2486万円	6億705万円	反対2：賛成13で認定
資本的収支	1億3913万円	5億5081万円		

まちづくりの考えは？

問 子どものサインの早期発見は

答 悩みを感じとる感性を培う つちか



中根 久治 議員

問 深刻化するいじめ問題、安全で安心な学校づくりのために対策を問う。

答 子どもは気づいてほしい人にだけサインを出す。早期発見のための心構えはなにか。

答 【教育長】 先生一人ひとりが悩みを感じ取る感性を培うよう伝達してある。

問 保護者の学校不信への改善策は。

答 アンケート調査や個人面談から、いじめの早期対応に努めている。

問 教育概要におけるいじめ対策の扱いをどうするか。



笑顔（深溝小学校）

答 豊かな心を、育むことを大切にし、いじめの早期発見と対応に努めている。

問 教育概要の見直しが必要と流行だ。見直しは易い内容か、不登校対応はどうか。

答 内容は、不登校対応の見直しについて。

問 教育相談室の拡充と学区ごとの設置は。

答 学区単位の教育相談室の拡大は、参考とする。

問 悩む子にスピーディに対応するため、「いじめホットライン」の充実を。

答 教育相談室で留守番電話もあり、メールアドレスも公表している。

問 ハートフルスクールの設置を

答 ホームフレンドの活用で研究

答 不登校問題は学校と保護者の連携と地域の教育力が要だ。現状と対策を問う。

問 不登校児童生徒の現状と指導体制は。

答 【教育長】 30日以上欠席した児童生徒は小学生1人、中学生2人。不登校対策委員会で協議している。

問 保護者の考え方に変化を促す努力も必要。保護者への働きかけは。

答 担任や、学年主任が保

問 多様な不登校の要因に対応できる体制か。

答 スクールカウンセラーが、児童生徒の相談活動や不登校の防止に努めている。

問 民間の人材を活用する不登校対策の組織は。

答 民間の力を活用して組織することは、参考としたい。

問 ハートフルスクール※はやりがいのある行政サービスだ。実現を。

答 県のホームフレンド事業の活用の中で研究する。

※ハートフルスクールとは不登校の児童、生徒に心の相談をしつつ、学習の機会を与える場所。



伊藤 宗次 議員

問 太陽光発電とPPSで財源つくれ

答 新たな施設から考えていく

問 脱原発。中電でPPS※導入し経費削減を提案した。検討10年の課題か。

答 **総務部長** プロバイダーから資料を取り、23施設で検討し16施設が効果があると結果がでた。そのうち7施設で取り組む。

問 東三河8市町村すべて庁舎電力をPPSに切り替えた。なぜ、庁舎は別なのか。

答 負荷率が高く、効率的に使われているため外した。

問 対象16施設が、なぜ6小学校1中学校だけか。

答 電気料金の削減効果が認められるのが7施設である。

問 7月1日から自然エネ発電の電力を電力会社が買取り義務付る「固定価格買取制度」スタート。どう対応する。

答 新たな施設から考えていく。

問 公共施設の屋根や相見駅西駐車場にパネル設置し発電→売電を。

答 **町長** 町のプラスになる方向では考えていくが駐車場に設置する考えはない。

問 1kw時42円の固定価格買取制度で財源づくりで知恵と工夫、努力すべきだ。

答 **総務部長** 新たな施設から考えたい。

問 産廃不法投棄と悪質野焼き取締り

答 関係機関と共同し指導していく

問 可燃ごみ排出量が増加減量、資源化取り組みが現状維持。後退につながる。

答 **環境経済部長** 人口の増加で増えているため、引き続き減量化、資源化をすすめる。廃家電の拠点回収で経費削減も始めた。

問 剪定枝チップ化を拡充しシルバの支援強化を。

答 一定量の剪定枝はシルバの活用を紹介している。

問 産廃不法投棄事例が後を断ぬ。現場確認と厳しい対応は。

答 現場を調査し県と共同



剪定枝チップ化作業

で処理をしており、文書による指導もしている。

問 悪質で常習野焼きの実態。まちなかで業務使用の油ボロなどを燃やし、苦情に開き直る。注意、指導も馬の耳に念仏。これでもいいのか。

答 現場で消火指導をし、くり返す場合は刑罰的なことも話し協力を求めている。

問 悪質で常習野焼きの場所、人物は特定できる。行政処分ふくめ厳しく対処を。

答 関係機関と連絡することと伝え、やめた事例もある。

問 違法野焼きで消防車の緊急出動件数は。

答 **消防長** 平成23年度は15件あった。

※ PPSとは
特定規模電気事業者



丸山 千代子 議員

問 非核平和宣言で平和行事推進を

答 早期に考えていきたい

問 広島・長崎に原爆が落とされ67年たった。世界で唯一、原爆の被害にあった国として人類と核兵器は共存できないことを訴えていくためにも非核平和宣言を制定するべきではないか。

答 **町長** 県内で約6割の市町村が制定している。よく検討し早期に考えていきたい。

問 平和市長会議は広島・長崎市長が呼びかけ1982年に設立された。加盟する世界の都市が連帯し核兵器廃絶の取り組みをしている。平和市長会議に加盟を。

答 内容をよく熟知し加盟していく。現在、事務方で加盟に向け調整している。

問 戦争の被害実態を知らない世代が圧倒的多数で



平和市長会議の様子（ホームページから）

ある。後世に伝えるために原爆展や平和行事の推進を。

答 平和の尊さを子どもたちに伝えていかなければならない。図書館などでパネル展示をしていく。

問 住宅リフォーム助成制度実施を耐震化とセットで助成する

答 住宅リフォーム助成は、全国533自治体が実施している。

問 住環境の整備や地域経済対策などを目的とした住宅リフォーム助成は、工事の一部を助成することで、数十倍の経済効果がでている。調査研究を。

答 **建設部長** 蒲都市と富山県朝日町の調査経過から、地域活性化につながることは理解している。

問 地元業者の仕事が減少してきたといわれている。が、経営状況の調査を。

答 商工会が町内の建築関係業者にアンケート調査

をおこなった結果、景気は「悪い」と判断されている。

問 住宅リフォーム助成の活用は、住宅の長寿命化が最も多い。使いやすい制度の創設を。

答 実績など出た場合は、幅広い活用を考えていく。

問 耐震化、介護のバリアフリー化工事などと組み合わせ可能な住宅リフォーム助成の実施を。

答 耐震化とセットで住宅リフォーム助成をおこなう。

そのほかの質問項目

● ハートプラスマークの設置



中根 秋男 議員

問 集中豪雨多発 治水対策は

答 広田川改修と遊水地事業の推進



ポケット版 初動マニュアル

問 集中豪雨が多発。災害対策本部の体制と災害時の職員登庁方法のマニュアル化は。

答 **総務部長** 5人の本部事務局と、町長以下20人以内体制。

ポケット版の初動マニュアルを作成し、人命第一で登庁、報告する体制である。

問 広田川改修事業の進捗状況は。

答 **建設部長** 全体の進捗

率は40%。

問 改修計画地より上流の対策工事は。

答 舟山川の合流点までが改修計画の終点。

問 低地での浸水対策として、雨水貯留施設の建設計画、町民、企業への避難方法は。

答 既存のため池や公園などを活用した流域全体で貯留を高める計画のため施設計画はない。

問 土地区画整理事業地の

治水対策は。

答 調整池の設置基準が通常より厳しい条件。

問 菱池遊水地実施計画の区域、用地取得方法、事業費は。

答 地権者希望は買取方式。事業費は今後、詳細設計の中で確認される。

問 着手予定年度は。

答 平成25年度着手予定。

問 野場横落線の実施計画は。

答 野場側からすすめ、遊水地計画と整合し整備。



平成 20 年 8 月末豪雨 (菱池地内)



鈴木 雅史 議員

問 森林所有者となった旨の届出は

答 改正森林法に基づく届出はない

問 幸田町は、森林が43%を占めている緑豊かな町である。森林は、外資による買収がすすんでいるとの新聞報道もされている。昨年森林法が改正され、森林の所有者となった場合には届出が義務化されたが、その届出状況、適正管理の呼びかけは。

答 幸田町は、森林が43%を占めている緑豊かな町である。森林は、外資による買収がすすんでいるとの新聞報道もされている。昨年森林法が改正され、森林の所有者となった場合には届出が義務化されたが、その届出状況、適正管理の呼びかけは。

建設部長 砂防法の指定の土地は、大字で17の

区、小字指定146カ所があり4割の割合を占めている。河川指定は、25河川の河川敷が指定されている。

問

貸農園の利用状況は

答 空き区画はない

問

貸農園は、消費者が自ら新鮮な野菜を育てることができるため人気がある。一方、農家の高齢化により、畑を貸したい農家も多くあるのが現状。貸し農園設置も農地法が適用されるため、市町村およびJAがおこなうことが多い状況。町内には、町運営・JA運営の2カ所。現在の利用状況は。

問

新たに貸農園を開設する場合の施設要件をどのように考えているのか。

答

貸農園を開設する場合は、農地法の特例に関する法律で、地方公共団体、農業協同組合、農地の所有者が主体となることができ、農業委員会の承認を得て開設することができる。

そのほかの質問項目

●六次産業化法に基づく状況は

答 保安林は、15行政区、

保安林は、15行政区、

問

森林には、水源のかん養、土砂の流出の防止などを目的とする保安林の指定および砂防のための砂防法による指定がなされている。箇所数および面積はどのようになっているか。

答

環境経済部長 改正森林法に基づくと届出はないが、届出を一つの機会として文書にて適正管理をお願いしたい。



野場地内

答

環境経済部長 憩いの農園北側にある幸田ふれあい農園は、利用料年一区画5000円で利用者は66人が88区画を利用している。芦谷ふれあい農



大嶽 弘 議員

問 事業仕分けの効果は

答 見える化と意識改革につながる



平成 24 年度 事業仕分け

問 本町の事業仕分けは、事業の見える化と職員の意識改革なども目的として実施された。

答 今年度、事業仕分けを実施した県内の自治体、実施見込みのある自治体は。

答 **総務部長** 名古屋市、安城市、西尾市、豊明市、東浦町が実施。来年度の状況把握はできていない。

問 「見える化」と「職員の意識改革」の効果判定は。

答 昨年度のアンケートで判定人は72・2%、傍聴人は59・6%が見える化ができたと回答があった。

問 仕分けの対象で勉強する機会ができ、一定の意識改革につながった。

答 平成22年度まで実施していた「事務事業評価」

と「事業仕分け」の効果比較判定は。

答 資料づくり、外部からの選定など事務的に職員の負担がかなり多く、総合評価では事業仕分けの方が負担が大きい。

問 来年度の実施予定は。

答 **町長** アンケートをやって最後の一区切りとしたい。

問 町民提案のまちづくりに補助を
答 内部で検討してみたい

えは。

答 具体的に検討していない。

問 町民提案による事業に対し補助金制度を検討する考えは。

答 内部で、一度検討してみたい。

問 道路側溝の泥上げ作業は、誰の仕事か。補助金制度で地元任せるとは。

答 **建設部長** 親切行政で対応している。補助金制度導入は考えていない。

問 本町の「協働のまちづくり」に対する補助金制度には何かがあるか。

答 **総務部長** 文化振興事業交付金、国際交流推進事業補助金、コミュニティ活動推進事業補助金、地域開発促進団体補助金、防犯活動団体支援事業補助金、教育団体活動促進補助金、資源回収事業奨励金がある。

問 近隣市では、各種の補助金制度を設けている。幸田町版の制度創設の考



水野 千代子 議員

問 「いじめめる側が100%悪い」

答 命を尊び生きる力を養う

いじめの未然防止、早期発見と対応を問う。

問 全国緊急アンケート調査の内容と結果は。

答 **【教育長】** 町内のいじめ認知件数は、小学校7件、中学校3件を報告。うち6件は解消し、4件は、継続指導中。

問 いじめが発見された時、全関係者と情報を共有し対応を。

答 職員間で共通理解を図り、指導の徹底をする。

問 チェックリストなどの活用で、子どもの「サイン」を見逃すな。

答 いろいろな項目で、細心の注意を払って当てる。

問 学校で「いじめめる側が100%悪い」「生命の大切さ」の教育を。

答 道徳、学級活動、各授業の時間に、「命を尊び



クラスで話し合い(中央小学校)

心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う教育」をすすめる。

問 スクールカウンセラーの拡充を。

答 県から3中学校に1人ずつ、小学校には2人が

巡回指導している。さらに拡大を要望している。

問 不登校児の話し相手となる「ホームフレンド事業」の導入を。

答 必要に応じ活用し、制度の周知に努める。

問 男女共同参画プランの見直しを

答 中間年で予定している

問 平成21年3月策定の男女共同参画プランで、審議会などへの女性委員登用率を平成30年30%としている。現況と要因を。

答 **【教育部長】** 審議会など女性登用率は、18・9%全体で24機関中、18機関に参画。

要因は認識や意識が若干低いと考える。

問 社会情勢も変化している。5カ年目でプランの見直しと、条例制定を。

答 中間年で見直しを予定している。

県内、近隣の状況をふまえ研究していく。

問 女性に関する支援制度や人権の啓発・DVなどの相談窓口の情報を一冊のガイドブックとして作成を。

答 町のホームページで、相談窓口をグループ毎に表示しており、ガイドブックは、検討していく。

問 男女共同参画社会をすすめるため、情報紙の発刊と専門部署の創設を。

答 サポートハンドブックの作成は、検討する。組織、機構の見直しの中で体制を検討していく。



志賀 恒男 議員

問 企業用地のアンケート調査を

答 本年度中に実施する

今年1月に蒲郡市は、企業用地のアンケート調査を実施した。取得時期、面積、坪単価など具体的な内容だった。

問 本町でも過去に調査を実施。その結果の概要は。

答 **【環境経済部長】** 商工会工業部会が実施した。主な結果は、用地取得「希望しない」60・2%、面積「100坪以内300坪未満」37%、建設時期「5年以内50%であった。調査結果のその後の対応は。

問 調査結果のその後の対応は。

答 工業部会は、工業団地の早期確保に向け調査検討を続けている。町としては県および地元調整ができて断念した経過があるが、根気よく努力する。

問 町内事業者の中には、もっと広い場所に移転したいとの声がある。企業用地のアンケート調査を早急に実施すべきでは。

答 **【総務部長】** 企業立地マスタープランを策定するため、本年度中に実施する。

問 中小企業のために、工業団地を開発する考えは。

答 アンケート調査を踏まえ慎重に考えていく。

問 中小企業支援の積極的施策を生み出していく

町内の製造業106事業所のうち、102事業所が

中小企業である。

問 平成22年に、政府は「中小企業憲章」を制定した。町の認識は。

答 **【環境経済部長】** 全国の中小企業の活力を高め、日本の経済、国民の生活の安定・安心と明るさを取り戻すためと考える。

問 県の「あいち産業ビジョン2011〜2015」の対応方針や

検討状況は。

答 間接的ではあるが、企業立地プロモーション活動のセミナーなどに参加している。

問 町の中小企業の支援の具体的施策の現状は。

答 商工業振興資金で設備運転資金、産業活性化支援事業の補助など、融資制度で支援している。

問 安城市は、中小企業振興基本条例を制定した。町の考えは。

答 独自の条例制定の予定はない。

問 小さな町だからこそできる積極的な施策を。

答 **【町長】** 企業立地課を中心に新たな産業を生み出していく。



中小企業の集まる工業地域（菱池地内）

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務



児童の安全 えこたんバス (幸田小学校)

「えこたんバス」

運行順調

8月16日協議会開催

3月19日運行開始したコミュニティバスは、役場および3駅を拠点とし、公共・医療・商業施設を循環し、児童の安全・安心な下校を確保するため、午後3時から4時までをスクールバスとして運行中。

Q 車イスの利用要望は、現在までない。

A デマンド運転方式※の対応は、

Q 乗車時に希望を聞き、運転手の判断で実施。

A 少年少女発明クラブ設置

次代をになう児童に、ものづくりをとおし創造性豊

頑張る企業誘致などを視察

かな人間形成を図る目的で10月開講に向け準備中。
Q 伝統のおもちゃづくりを科目に取り入れる考えは。

A 科学的見地から採用。

Q 何を教えるのか。

A ものづくりの面白さと

工具の使い方、整理整頓などの基本やあいさつの重要性を教えていきたい。

※デマンド運転方式とは利用者の要求に対して、停車などをすること。

7月25・26・27日奈良県香芝市、和歌山県田辺市・日高川町・橋本市を視察した。

香芝市

安全・安心のまちづくり
「まちづくりパートナー制度」を設置し、専門的な経験者である62人が登録をし、行政との協働をめざし、活動中。

田辺市

デジタル防災行政無線の整備
昨年の熊野川氾濫で8人の尊い命が失われた。住民との双方向通信を可能にし、

災害の情報収集や伝達のスムーズ化をすすめ、多様な対応が可能となっている。

日高川町

全員防災士の取り組み
町長の方針で、職員207人が防災士をめざしコミュニティを生かしながら、地域のきずな強化に取り組んでいた。

橋本市

企業立地の取り組み
町長を先頭に、トップセーブルスときめ細かい取り組みをすすめ、10社が操業済みで、契約は19社である。



日高川町にて

橋の長寿命化 修繕計画

産業建設



逆川橋の点検

8月10日協議会開催

長さ15 m以上の39橋を対象に、今後10年間の修繕計画を策定した。

Q 策定の背景は。

A 橋の高齢化がすすむ中、適切な維持管理の予算確保のため。

Q 策定の目的は。

A 橋の長寿命化で道路網の安全性と信頼性を確保。

Q 修繕計画の効果は。

A 定期的に点検・補修することで、事後補修に比べ費用が46%減となる。

平成23年度の清掃事業実績

463人の人口増に対し、ごみ総排出量は9915トンド、0.2%減少した。

Q 人口増加に伴い、可燃ごみが増加しているが、総排出量が減ったのは。

A 事業系ごみが4.5%減少し、総排出量が減少した。

Q 資源ごみの回収量が減少しているが、年々減少傾向の要因は。

A 要因を分析し、説明会や会議などで提案する。

Q 資源ごみ回収の実施日程が競合しているのでは。

A コミュニティで調整。

遊水地の活用

事例などを視察

7月4・5・6日、新潟県見附市、富山県朝日町・高岡市、石川県白山市を視察した。

見附市

刈谷田川遊水地

米作農業を継続できる地役権方式を採用した遊水地完成した4カ月後に越流し、堆積土砂や流木などの除去、損害補償の算定など、課題も確認できた。

朝日町

住宅リフォームに助成

居住環境の改善と町内の施工業者の育成も兼ねた事業。4月から開始し、3カ月で10件利用され、年間25件を予定している。



刈谷田川の越流堤

高岡市

駅周辺整備事業

2年後の開業予定の新幹線新駅の駅前広場、観光交流施設、アクセス道路など総合的に整備が進行中。行政と地域団体が、推進会議を立ち上げて活動している。

白山市

駅周辺の土地区画整備

駅の南側と北側を連絡する地下幹線道路、橋上自由通路、駅前シエルター、立体駐車場など新しい都市空間づくりを推進していた。

特別養護老人ホーム 事業者募集

文教福祉

8月9日協議会開催

第5期介護保険事業計画などに基つき、特別養護老人ホームの整備のため運営事業者を募集した。

平成26年度中に開所予定。ホームは、100床程度でシヨートステイ20床、デイサービスなど併設。原則ユニット型で、資格者は社会福祉法人とする。

4つの事業者が応募しており、選考委員会の中で審査がおこなわれている。

候補者決定は、9月を予定している。

Q 広域型のホームであるが、町内の入所者枠は。

A 約60床が町内者、約40床が町外者の予定である。

Q 設置場所は町の南部方面か。

A 中学校区で一方所が望ましいと考えている。

不活化ポリオ

ワフチンはじまる

9月から生ポリオワフチンから不活化ポリオワフチンに切り替えられる。

対象者には個別に通知される。

Q 対象者は。

A 約900人である。



生きがいデイサービス（老人福祉センター）

子育て支援施設 などを視察

7月11・12・13日、石川県小松市、福井県福井市・越前町・敦賀市を視察した。

小松市

子育て支援

子どもの短期宿泊や夜間預かりを実施している施設「育松園」や小松市民病院に隣接した「こまつ病児保育ルーム」などで、保育に関する全サービスを完結させている。

福井市

福井市立郷土歴史博物館

越前松平家からの多くの寄贈品や寄託品により、充



福井市立郷土歴史博物館

実した博物館であり、ここを拠点とした生涯学習の場が確立されている。

越前町

織田保健福祉センター

病院と福祉センターを核として、周辺に福祉施設がほどよい距離で配置されている。

敦賀市

敦賀市ハートフルスクール

不登校の子どもへの支援が、学校と教育委員会、家庭や民間との連携で成功しており、この施設が中核となっている。

親しまれる議会だより めざして

議会広報



全国から研修会に参加

第76回全国町村 議会広報研修会

7月30・31日東京で開催された。

① 伝わる、わかりやすい文章を書く

② 広報誌におけるレイアウト表現の基本

③ 写真の撮り方

④ 議会広報フリニック
専門の講師による研修を受けた。

読まれ、親しまれる広報誌にするため、伝えたいことではなく聞きたいことを書くことで、読みたくなる文章に変える工夫。

表紙からメッセージが伝えられるものにするなど、これからの議会だよりの編集に生かしていきたい。

第26回愛知県町村 議会広報研修会

8月6日、アイリス愛知で開かれた。

(株)ジェイクリエイト代表城市創氏による「親しまれる議会広報づくり&議会広報フリニック」の講演がおこなわれた。

議会広報特別委員会は、毎年参加して、親しまれる議会広報づくりをめざしている。

議場って
どんなところ？

「目で見る議場」

庁舎 5階



12月定例会の予定です。

●会期の日程

- 12月3日(月) 開会、議案の説明
- 5日(水) 一般質問
- 6日(木) //
- 11日(火) 議案の質疑
- 12日(水) //
- 14日(金) 文教福祉委員会
- 17日(月) 産業建設委員会
- 18日(火) 総務委員会
- 20日(木) 議会運営委員会
- 25日(火) 討論、採決、閉会

- 場 所 役場5階 議場 ●時 間 午前9時から
- 詳しくは議会事務局へ TEL 63-5151 (直通)

行政の橋渡し

民生委員・児童委員



天野会長の話
【若い人に期待】
 民生委員の数は41人で、社会奉仕の精神で社会福祉の増進に努めている。委員の定年は75歳である。若い引き受け手を期待している。

今回は、民生委員・児童委員生活福祉部会の皆さんからご意見を伺い、アンケートをいただきました。
 (以下民生委員という。)

参加者
 会長 天野和彦
 生活福祉部会
 部長 小澤征司
 副部長 石川和子
 委員 大見祥子
 鈴木康裕
 近藤ひさよ
 神取幸枝
 草次みはる
 内田早苗
 音部年秀
 渡邊勝子



広報委員との座談会

日ごとの活動

苦労話
 ● 災害時の1人暮らし高齢者の対応に苦労している。区長、民生委員、隣人などと情報の共有が望ましい。

研修会
 ● 生活福祉部会では、7月に普通救命講習、8月に認知症の講習会を実施した。
 年間計画に従って実施しているが、社会奉仕の精神で実施している。

奉仕活動は
 ● 毎月第3水曜日に特別養護老人ホーム「まどかの郷」「つつじヶ丘」で奉仕作業を実施している。

民生委員のこれから
 ● 地域の福祉専門は、民生委員である。地域の役員との交流・意見交換の場が必要となってくる。

行政との橋渡し

使命感
 ● 社会奉仕の精神で助けを必要とする人のために尽力すること。
 ● 不公平のない社会・環境づくり。
 ● 福祉ニーズの把握と行政との橋渡し、連絡調整。
 ● 地域での子どもや老人への声掛け、相談。
 ● 自分を高め見識を広める。

● 地域行事への参加でコミュニケーションを図る。
 ● 行政に望むこと
 ● 合併問題を住民目線で知りたい。
 ● 各種の手当を含め、不公平のない行政を。
 ● 住民と直接に接し、生の声を聞く行政を。
 ● 総合病院の設置。医師・病院のネットワーク化の検討を。

子どもから元気を

活動の喜び
 ● 児童・生徒と触れ合うと元気や感動が得られる。

● 交通指導、防犯活動で児童生徒から元気な反応があるとき。
 ● 保育園・小中学校では、直接、子どもの様子がわかる。

● 訪問などで、笑顔で「ありがとう。」と言われる。
 ● 高齢者の方、身体の不自由な方から頼りにされ、喜んでいただけること。

住民の生の声を

● 行政に望むこと
 ● 合併問題を住民目線で知りたい。
 ● 各種の手当を含め、不公平のない行政を。
 ● 住民と直接に接し、生の声を聞く行政を。
 ● 総合病院の設置。医師・病院のネットワーク化の検討を。

町民と

福祉の増進

小澤部会長の話

各地区の記事を特集で

各委員は、守秘義務、個人情報保護の中で苦勞している。

議会だよりの「委員会レポート、住民の声を聞く、あい・らぶ・マイタウン」は年代を問わず興味がある。

特色のある記事として、各学区・区単位の連載特集や過去の議員との時事放談を期待する。



質疑応答は的確に

議会への要望

- 議員のビジョンは、大局的に同じ。具体的で前向きな政策協議を。
- 住民にわかりやすい情報公開を。
- 住みやすく安全で楽しいまちづくり。
- 教育・医療・福祉・介護などに携わる人と行政との連絡・仲介を。

福祉ニーズの把握と制度、体制づくりを。

快適なまちづくりをめざし粘り強い前進を。

地域の生の声を。

小中学生の役場・議場見学の設定と感想掲載。

議会の質疑応答は、地域全体の問題点を的確に。

議会だよりの感想など各委員のご意見

家庭で読める広報誌を

町の広報との重複は、整理したほうがよい。

カラー印刷で、読む気になれるが言葉が難しい。

難しい漢字がある。

家族が一緒に行政を話し合えるクイズを提案。

多色すぎ、広報誌化しすぎない編集を。活字は大きく漢字にはふりがなを。

インターネット時代なので情報は早い方がいい。

学校や病院への配布を。子供からみた意見も面白い。



つつじヶ丘入所者の衣類を縫う

奉仕作業は使命感



つつじヶ丘の草刈り作業

災害規模に応じた町の被害想定データを。

女性の声をきくように。

一般質問の結果報告があるとよい。

議会広報委員のコメント

読みやすいページづくり
一般質問のページは、次のように編集しています。

● 質問原稿は、質問した議員が書き、答弁原稿は広報委員がまとめています。

● 文字数は800字以内に抑えています。写真や空白のとり方など読みやすい工夫に努めています。

● 全体の編集では、色の使い方にも苦勞しています。

お詫びと訂正
145号「あい・らぶ・マイタウン」の羽田朱季さんのふりがなが誤りでした。お詫びと訂正申し上げます。

深溝小学校6年

永谷巴琉さん



将来の夢

わたしの将来の夢は、獣医になることです。獣医とは動物の医者です。なぜ、獣医になりたいのかというと、もともと犬が好きということがありました。でも東日本大震災では、たくさんの人々を助けるのが精いっぱい、その間動物は見捨てられていました。そんな様子をテレビで見ている一匹でも多くの動物

たちを助けたい、という思いが強くなりました。しかし、そんな思いとは反対に不安もあります。気持ちだけ助けたいと思っても、知識がなくては役に立たないからです。だから、わたしは不安な気持ちがあるまで、たくさん勉強をこなしてはなりません。そして、たくさん知識を身につけ、立派な獣医にな

るためにがんばろうと思

るためにがんばろうと思



絵：牧野次男さん（声谷）



南部中学校3年

成瀬将司くん



『南中ソーラン』で町を元気に

開校30周年を迎えた南部中学校では、今「南中ソーラン」に燃えています。

先曰、地域の敬老会でソーランを披露させていただきました。

日々お世話になっている方々のために感謝の気持ちをソーランで伝えようと、27人の南中生が集まりました。全力で踊ったので、終わるころにはへとへとになってしまいま

たが、地域の方々の笑顔と大きな拍手をいただいて、大きな達成感を得ることができ、全員最高の笑顔になることができました。

このような世代を超えた交流が、南部中学校にはあります。これからも「南中ソーラン」で地域の方々の交流を続け、地域みんなが元気になるようにがんばります。



編集後記



剣道柔道などその道を極める修行の段階を示す言葉に「守破離」があります。「守」は教を守り、身につけること、「破」は自分の特性に合うように応用すること、「離」は自分自身の確信に従うことです。

議会だよりをさらに多くの皆さまに待ち望まれて読んでいただけるように、私たちも研修をしています。専門家による評価と指導を受けながら、その教えを守り、実践してきました。

おかげさまで、この何年間も全国的にも高い評価を

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 大嶽 弘 |
| 副委員長 | 丸山千代子 |
| 委員 | 水野千代子 |
| 委員 | 酒向 弘康 |
| 委員 | 都築 一三 |
| 委員 | 中根 久治 |
| 委員 | 志賀 恒男 |
| 議長 | 池田 久男 |

いただき、励みになっています。次は「破」の段階です。町の風土に合った議会だよりには皆さまの多くの「声」が何よりも必要です。よろしくお祈りします。(中根 久治)

写真募集中

議会だよりの表紙写真を募集しています。テーマは季節感と暮らしの中の笑顔が溢れているものがいいです。



（詳細は、議会事務局まで）
TEL:63-5151